

分野名：家庭教育

子どもと親世代・高齢者世代が参加する自治会行事
～家庭教育を支援する『子どもキャンプ』・『レクスポ祭り』～
大野城市大池公民館
館長 大池区長 楠林 聖近

はじめに

- 大池公民館では、家庭教育に直接関する学習はしていないが、子どもたちが地域の行事で多くの大人に接することにより地域全体で家庭教育を支援する事ができるのではないかと考えています。
- 発表では、大池公民館の指定管理者である大池区（自治会）の行事の中で、子どもと親世代・高齢者世代が参加し地域の家庭教育を支援していると思われる『子どもキャンプ』『レクスポ祭り』の説明を行います。

大池子どもキャンプ

1. 事業名

大池子どもキャンプ

2. 事業の目的

- ①初めて実施したときの目的は、親から離れて1泊2日のキャンプを経験させること。そして、親を子どもから解放することだった。
- ②現在の目的
 - ・子どもの健全育成に資すること。
 - ・やりがい、責任感、子どもの異学年交流により年齢が上の者が下の者の面倒を見ること。
 - ・来たときよりもきれいにすること。

3. 事業の実施主体

子どもキャンプの会

4. 連携・協力機関・団体等

生涯学習推進部、子ども会、保護者、地域協力者

5. 事業予算（平成30年度）

- ①参加する小学生、保護者、スタッフから一人500円徴収
- ②生涯学習推進部からの助成金1万円
- ③シニアクラブから5,000円

6. 実施に至る経緯

平成10年頃大池区の役員も関わっていた大池ソフト（大池ソフトボールクラブ）の懇親会の中で、「自分が子どもの頃に子ども会でキャンプをしていたな」という話しになり、大池ソフトの有志で開催された。

次回の検討会議を区と大池ソフトと子ども会で開いたが、子ども会は、親の出

事を増やさないで欲しいという意見であった。

そこで、親の参加は無くてもいい、子ども会は、子どもの参加を呼びかけるだけでいいということで、2回目が開催された。

その後、しだいに保護者も子ども会として手伝うようになってきた。

7. プログラム作成の視点

子ども達が毎年楽しめるようにするために、小学生、保護者、子ども会にアンケートを取り次年度の参考としている。

8. 事業の内容（平成 30 年度）

- ・参加者は、大池区内の小学生
- ・実施日は、夏休み最初の土日
- ・活動場所は、主に公民館と東コミュニティセンター
- ・子ども達は、1年生から6年生までの班構成で活動する

(1) 食事（夜・朝・昼の3回）

① 夕食（カレーライス）

- ・食材は子ども達が切った。
- ・飯ごう炊飯、火起こしは4年生以上が担当した。
- ・食材は子ども食堂から一部提供された。
- ・後片付けはプログラムの関係上大人全員で行った。

② 朝食（ご飯、味噌汁、卵焼き、ふりかけ）

- ・シニアクラブによる調理（昼食のおにぎりも作る）

③ 昼食（そうめん流し、おむすび）

- ・流す物…そうめん、ぶどう、チェリー、プチトマト、みかん
- ・青竹を利用し10mの長さにした。
- ・食べるときにシニアクラブを招待した。

(2) 就寝

- ・公民館2階の集会室に男女関係なくゴザを敷いて寝る。大人も若干名宿泊
- ・バスタオル、クッション等持参。

(3) レクリエーション

班対抗ゲーム、夏休み工作、映写会、ラジオ体操、朝の散歩、灯籠の絵描き（夏まつりの灯籠用）、ドッジボール

(4) 花火

(5) 公民館清掃

9. 事業の成果

- 1度参加した子は、小学校を卒業するまでほとんど毎年参加している。
- 大池区在住の小学生80人のうち50人ほどが参加している。
- 小学校を卒業しても、中学生スタッフとして参加してくれている。

10. 今後の課題

- 子どもや保護者に、将来は大池区の役員や協力者になって欲しい。

大池区レクスボ祭り

1. 事業名

第 32 回大池区レクスボ祭り

2. 事業の目的

スポーツを通じて大池区住民の交流、親睦を目的とし、近隣住民が親しくなり、福祉・防災などにおいて共助を行えるようにする。

3. 事業の実施主体

大池区

4. 連携・協力機関・団体等

- ①区の組織内…役員、組長、体育部、文化部、子ども会、食進会、福祉部、民生児童委員、主任児童委員
- ②大野東中学校生徒（放送係）

5. 事業予算

320,000 円（令和 4 年度）

6. 実施に至る経緯

従来『運動会』は、大野東中学校のグラウンドで行っていたが、テント張り、ライン引きなど会場準備に組長、運営委員、役員をはじめ多くの人手が必要だった。また、高齢化に伴い準備作業が大変だという声もあった。

そこで、従来は午後 3 時で終わっていたものを平成 26 年からは午前中に終わるようにし、昼から公民館で食事会を開き、参加者に親睦を深めてもらうこととした。

さらに、平成 29 年に雨天でも実施できる室内競技に変更したことで、準備作業も大幅に軽減し、名称も『大池区運動会』から『大池区レクスボ祭り』に変更した。

7. プログラム作成の視点

種目は子どもから高齢者まで参加できるものとしている。

8. 事業の内容（令和 4 年度）

(1) プログラム

- ①アジャタ、②五目お手玉ビンゴ、③新一年生紹介、④風船取り、⑤大玉転がしリレー、⑥総踊り（開始 9 時、終了 12 時）

(2) 食事会

新型コロナウイルス感染症対策で弁当配布（例年は、弁当、アルコール、鉢盛など）

(3) 係

受付係、給水係、救護係、賞品係、放送係、招集係、進行係、用具係、審判係、記録係、昼食準備係

9. 事業の成果

○令和 4 年度の参加者数 250 人（大池区人口約 1,300 人）

10. 今後の課題

○ルールがわかりにくいものへの対応

問い合わせ先

〒816-0904 福岡県大野城市大池 2-2-2 大池公民館

TEL : 092-504-1386 FAX : 092-504-1386

E-mail : ooike@bb.csf.ne.jp